アイセル２１　静岡市女性会館
図書コーナーだより

11
2017　vol.161

☆今月の特集☆
妊娠・出産

今月のおすすめ

ワンオペ育児
わかってほしい休めない日常

藤田　結子 著　毎日新聞出版　(367.21)　2017 年

「ワンオペ育児」という言葉が世に出たのは 2014 年頃。本書は気鋭の社会学者が、首都圏に在住する幼い子どもを育てる女性とその周囲の人たちを観察し、話を聞きまとめた一冊だ。

ライフスタイルは違っても母親は「ワンオペ育児」に共感する。それは新自由主義的な流れの中で、自己責任の考え方が氾濫(はんらん)していることとつながりがあると著者は言う。核家族化が進み、育児は家族が責任を持てと言われ、誰かに頼ろうとすると甘えていると非難される。育児をしている多くの人が何かしら孤独や不安を感じ、誰かに助けてほしいと思っていながらも、一人で乗り越えるしかない状況に置かれているからこそ、たった一人でブラックな働き方をするワンオペ育児が胸に響いたのだという。

早朝から夜遅くまで、家事に育児に仕事にと一日中働きづめ。著者が述べるワンオペ育児世代の特徴はあまりにも切ない。ただ本書は母親たちのつらさだけを書いたものでは決してない。インタビューを元に、現在の育児の現状をありのまま伝えた上で、育児をする女性たちを取り巻く環境などをデータとして客観的に分析し解決策も提示している。育児中の母親はもちろん、子を持つ夫や、育児中の部下を持つ上司にもお勧めしたい。身近にいる子育て中の女性の心情と現状を理解するのにもってこいの一冊だから。(松永裕美)

「ワンオペ育児」を読んで心に残った言葉

男性がもっと育児や介護を分担すれば「老いも若きも男も女もお互いさま」という感覚が育つ。

◆◆◆NEWS◆◆◆

11 月 12 日～25 日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

配偶者等からの暴力、性犯罪、売買春、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為や人身取引などの、女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するものであり、決して許される行為ではありません。

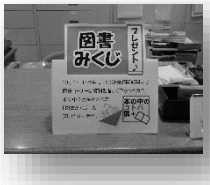
自分さえ我慢すれば…と思っているあなたへ
「ひとりで悩まずまず相談を！」
早めの相談が問題解決への第一歩です。

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

期間中、図書コーナーでは、女性に対する暴力(DV)防止に関する本を展示貸出しします。

大好評「本の中のコトバ展＋(プラス)」

先月から始まった、秋の読書週間の企画「本の中のコトバ展＋」では、毎日多くの方にご覧いただいています。展示は 11 月 12 日まで行います。ご来館をお待ちしています。



◆◆◆静岡市女性会館は今年開館 25 周年を迎えました◆◆◆

今月の特集　妊娠・出産

産まなくても、産めなくても

甘糟りり子（913.6）
講談社　2017 年

妊娠、出産にまつわる 7 つの物語が収録されています。39 歳女性が卵子凍結をする話。モテる男が不妊症を告げられる話。不育症の女性が特別養子縁組を望む話ほか。引退した女性マラソンランナーが、年齢的に妊娠は難しくなるかもしれないと思いながらも再びレースに戻る決心をする話が印象的でした。出産後ママさんアスリートとして活躍している選手もいますが、出産しないで競技を続けるアスリートもいます。どちらもその人の選択として尊重されることなのだ、と思いました。（石割）

☆もっと読みたくなったら☆

『産む、産まない、産めない』
甘糟りり子 （913.6） 講談社 2014 年

『うさぎのたまご』
咲乃月音 （913.6） 宝島社 2012 年

私、子ども欲しいかもしれない。

犬山紙子（598.2）
平凡社　2017 年

「子どもを増やし、少子化に歯止めをかけよう」と号令をかけられても、働き続けやすい職場はまだ一部。共働きながら、家事・育児は妻の肩にかかりがち。所得が増えないなか、日本の教育への公的支出は世界最低ランク。ゆえに教育費は家庭に重い負担としてのしかかります。働く女性にとって子どもを産むかどうかはとても大きな問題なのです。著者は、そんな悩みを整理するため、様々な人にインタビューします。そこから見えてきたものは？ 選択に揺れる女性に共感必至の一冊です。（田嶋）

☆もっと読みたくなったら☆

『産まないことは「逃げ」ですか？ 』
吉田 潮 （367.21） ベストセラーズ 2017 年

『産む、産まない 妻たちのつぶやき』
森本和子 （367.21） アースメディア 2009 年

マタハラ問題

小酒部さやか（366.38）
ちくま新書 2016 年

働く女性が妊娠・出産を機に退職を迫られたり、嫌がらせを受けたりする「マタハラ」。マタハラによって流産すれば命そのものが失われ、出産をあきらめれば少子化を招き、仕事をあきらめれば労働力不足を招きます。女性の産む権利や働く権利を奪う人権問題であるだけでなく、日本の労働問題であり経済問題なのです。ひどいマタハラにあった経験をバネに、被害者支援団体「マタハラ Net」を立ち上げ、「世界の勇気ある女性賞」を日本人初受賞した著者が「マタハラ解決は日本を救う」と訴えます。（遠藤）

☆もっと読みたくなったら☆

『ずっと働ける会社 マタハラなんて起きない先進企業はここがちがう！』小酒部さやか（336.4） 花伝社 2016 年

『働く女性とマタニティ・ハラスメント「労働する身体」と「産む身体」を生きる』杉浦浩美（366.38） 大月書店 2009 年

世界の産声に耳を澄ます

石井　光太（368）
朝日新聞出版 2017 年

我が子の出産に立ち会い、改めてかつて取材した海外の出産、子育てに向き合った著者のルポルタージュ。伝統が途絶えゆく先住民族、HIV の蔓延（まんえん）地、紛争地域などの過酷な環境での出産や子どもたちの姿、代理母出産やストリートチルドレンの若年出産、粉ミルクビジネスでの誤った母乳情報、アルビノ迫害の犠牲者など、出産子育てをめぐる世界の闇が浮き彫りになっています。苦境の中での妊婦や母親の強さ、そこで育つ子どもの笑顔の描写に、希望と複雑な思いが交錯しました。（狩野）

☆もっと読みたくなったら☆

『産み育てと助産の歴史』
白井　千晶/編著 （495.9） 医学書院　2016 年

『世界の出産』
松岡悦子・小浜正子/編 （385.2） 勉誠出版　2011 年

Let's reference!

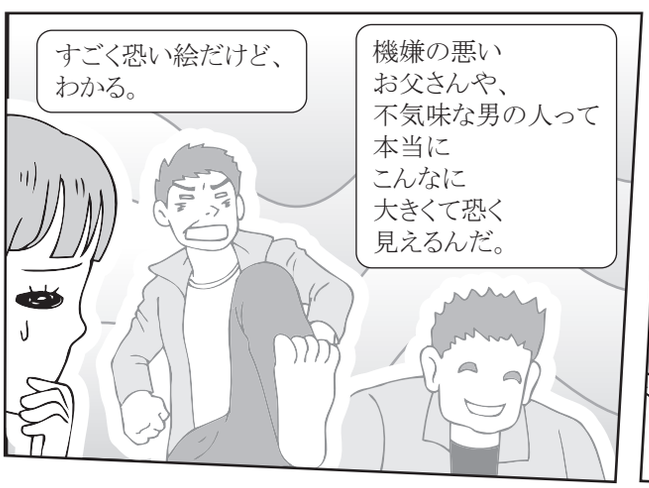
アイセル

レファ☆日記

第 60 話

学校帰りに図書コーナーを訪れた
みずほさんは、絵本『パパと怒り鬼』※を
手に取りました。

※グロー・ダーレ（作）スヴァイン・ニーフース（絵）大島かおり、青木順子（訳）ひさかたチャイルド 2011 年発行



これまでのお話は、静岡市女性会館 HP でお読みいただけます。（https://aicel21.jp）

つづく

新着図書リスト

11 月の新着図書です。
新着図書コーナーをご覧ください。なお、貸出中の場合は
カウンターでお問い合わせください。

資料名	著者名	請求記号
《哲学》		
また身の下相談にお答えします	上野　千鶴子	B159
《歴史・伝記》		
サンダカンまで わたしの生きた道	山崎　朋子	B289.1
《法律・経済・社会》		
《自粛社会》をのりこえる 「慰安婦」写真展中止事件と「表現の自由」	安　世鴻ほか	316.1
わかりやすい家族への信託 認知症になる前に財産管理・相続の悩みをスッキリ解決！	酒井　俊行	324.82
育児＆介護を乗り切る ダイバーシティ・マネジメント イクボスの教科書	日経DUAL	336.4
悩める日本人 「人生案内」に見る現代社会の姿	山田　昌弘	360.4
入門家族社会学	永田　夏来 松木　洋人	361.63
働き方の男女不平等 理論と実証分析	山口　一男	366.38
《女性・男性問題》		
産まないことは「逃げ」ですか？	吉田　潮	367.21
女性白書　2017 女性の人権と社会保障−世界と日本	日本婦人団体連合会	R367.21
マンガでわかる男性学 ジェンダーレス時代を生きるために	水島　新太郎	367.5
男子劣化社会 ネットに繋がりっぱなしで繋がれない	フィリップ・ジンバルドーほか	367.5
父の逸脱 ピアノレッスンという拷問	セリーヌ・ラファエル	367.635
誰も教えてくれない大人の性の作法（メソッド）	坂爪　真吾 藤見　里紗	367.9
封じ込められた子ども、その心を聴く 性同一性障害の生徒に向き合う	中塚　幹也	367.9
子どもと性必読25問 タジタジ親にならないために	村瀬　幸浩	367.99
《福祉・教育》		
男が痴漢になる理由	斉藤　章佳	368.64
一人でもだいじょうぶ 仕事を辞めずに介護する	おち　とよこ	369.26
「なんとかする」子どもの貧困	湯浅　誠	369.4
ブラック部活動 子どもと先生の苦しみに向き合う	内田　良	375.18
アカデミック・ハラスメントの解決 大学の常識を問い直す	北仲　千里 横山　美栄子	377.1
なぜジェンダー教育を大学でおこなうのか 日本と海外の比較から考える	村田　晶子 弓削　尚子	377.15
発達障害の子のためのハローワーク	鈴木　慶太ほか	378
はじまりは愛着から 人を信じ、自分を信じる子どもに	佐々木　正美	379.9
《科学・医学》		
わたしの主人公はわたし 他人の声に振りまわされない生き方	細川　貂々	498.39
《生活・育児》		
パパは脳研究者 子どもを育てる脳科学	池谷　裕二	599
《芸術》		
スカートはかなきゃダメですか？ ジャージで学校	名取　寛人	769.91
《文学》		
花咲舞が黙ってない	池井戸　潤	B913.6
千の命	植松　三十里	B913.6
彼らが本気で編むときは、	荻上　直子 原作	913.6
君が夏を走らせる	瀬尾　まいこ	913.6
主婦悦子さんの予期せぬ日々	久田　恵	913.6
さらさら流る	柚木　麻子	913.6
空色バウムクーヘン	吉野　万理子	B913.6
わけあり記者 過労でウツ、両親のダブル介護、パーキンソン病に罹った私	三浦　耕喜	916
《子どもの本・絵本》		
ラブリィ！	吉田　桃子	913
しろくまちゃんのほっとけーき てんじつきさわるえほん	森　比左志	E
《行政資料》		
静岡県子ども食堂ガイドブック	サステナブルネット	2−J

静岡市女性会館 図書コーナーだより vol.161

発行日：2017 年　11 月 1 日
編集・発行：静岡市女性会館指定管理者 NPO 法人男女共同参画フォーラムしずおか
〒420-0865　静岡市葵区東草深町 3 番 18 号　TEL054-248-7330（代表）
静岡市女性会館ホームページ　http://aicel21.jp ※ホームページより資料の検索と予約ができます。
利用時間：9:00～19:00（第 2・4 月曜日、年末年始、図書整理日、蔵書点検日　休館）
貸出点数：1 人　図書・雑誌 5 冊、CD・カセット 2 点まで　　貸出期間：2 週間以内